

令和5年度 事業実施報告書

一般社団法人 北陸地域づくり協会

事業名 (個別メニュー)	佐渡國しま海道 小さな道の駅「寄れっ茶屋」広報事業	事業経緯	継続	実施体制	協力	担当所属	新潟支所
事業名 (大項目)	地域づくり活動促進事業	分類名 (中項目)	地域活性化・振興支援事業			事業区分	調査、資料収集

1. 事業目的

国土文化の再興の一助となることを目的とする「日本風景街道」は、全国で145ルートが登録されている。その一つ、「佐渡國しま街道」は佐渡のほぼ全域を活動エリアとし、地域活性化、地域の文化・歴史の紹介に通じる取り組みとして景観整備や定期的な散策会等を行っている。

本事業は、佐渡を訪れた旅行者が気軽にトイレを借りたり、地元の情報を得られる休憩所＝小さな道の駅「寄れっ茶屋」への協力者を募り、旅行者へ広く知らしめ佐渡観光をより快適にすることで、地域の活性化・振興へつなげるものである。

2. 事業実施体制

主催：佐渡國しま街道(NPO、企業、行政等でパートナーシップを形成)
協力：(一社)北陸地域づくり協会

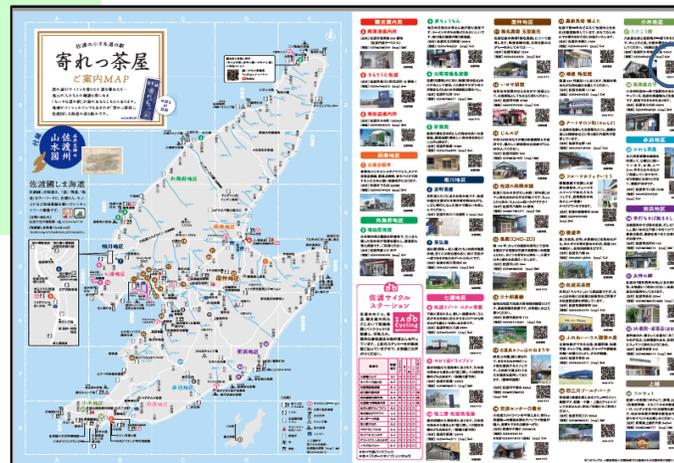
3. 事業実施概要

◆寄れっ茶屋マップ制作

- ・2,000部印刷
- ・佐渡島内32の協力施設を掲載
- ・QRコードからスマートフォンで詳細な施設情報にアクセス可能
- ・島内の観光案内所・佐渡汽船・市役所等全域で無料配布

◆マップ配布箇所

- ・旅行者がそれとわかる目印(のぼり旗)を協力施設に配布



寄れっ茶屋マップ

4. 事業実施による効果(評価・貢献度等)

「佐渡國しま街道」は平成16年から、「みち」から見える佐渡独特の風景や各集落に息づく地域文化や歴史を再発見・再構築し情報発信する活動として、道路のゴミ拾いや草刈り、景観形成や地域文化や歴史を紹介する看板の設置などを行っている。近年は、佐渡金山の世界遺産登録や佐渡ジオパークの世界ジオパーク登録の活動と協働し、佐渡観光発展の一端を担っている。

「寄れっ茶屋」事業は平成18年から実施しており、マップの配布等を通じて多くの旅行者が「寄れっ茶屋」を利用しており、リピーターの増加にもつながることで地域の活性化・振興が期待できるとともに、「佐渡國しま街道」のブランド力の向上が図られる。

「寄れっ茶屋」はのぼりが目印



QRコードから施設情報へ